

経営比較分析表（令和元年度決算）

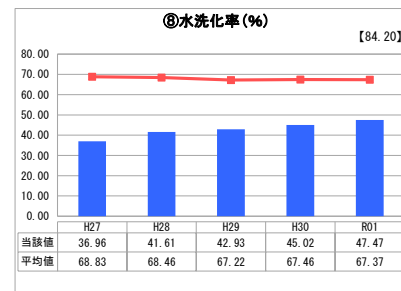
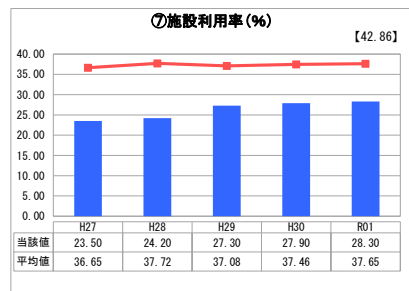
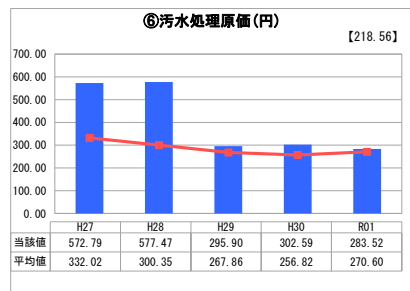
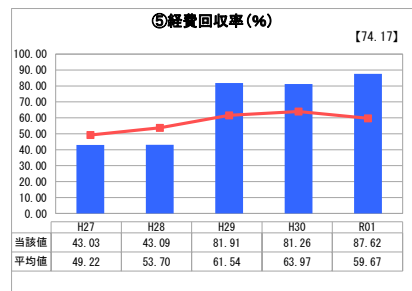
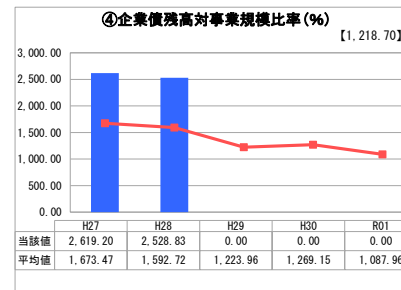
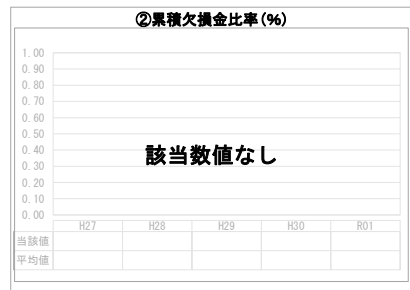
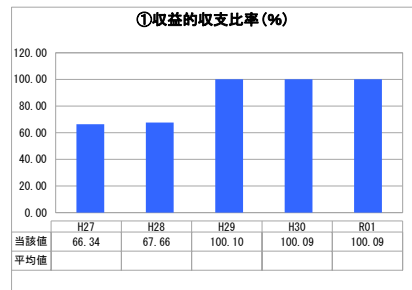
岩手県 軽米町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	特定環境保全公共下水道	D3	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	30.17	100.45	4,400

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
8,984	245.82	36.55
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
2,684	0.97	2,767.01

グラフ凡例
■ 当該団体値（当該値）
— 類似団体平均値（平均値）
【】 令和元年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



分析欄

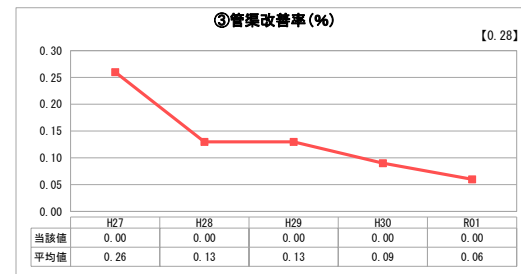
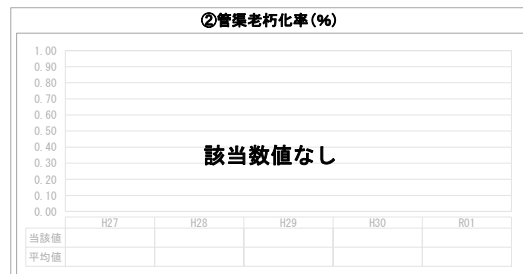
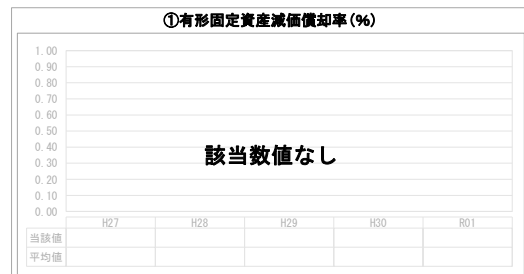
1. 経営の健全性・効率性について

当町の下水道事業は、平成18年度に供用を開始し、令和2年度の概成に向け現在も整備中であります。供用開始から14年が経過し、水洗化率・施設利用率とも年々微増傾向にあるものの、同様に供用開始から15年未満である全国の市町村と比較すると、いずれも平均を下回っております。平成29年度決算より一般会計繰入基準額を見直したため、単年度収支における総収入額のほとんどは一般会計からの繰入れによって賄われ、収益的収支比率が前年度同様赤字となり、有収水量の増加によって前年度と比較し経費回収率の上昇と汚水処理原価の減少が図られました。施設整備のための財源の一部である企業債借入残高は、繰入基準額の見直しにより、一般会計からの負担によってすべて賄われますが、今後も将来の利用者負担を考慮し借入額が膨らまないように運営実態を把握し効率的な事業計画を進めてまいります。

2. 老朽化の状況について

当町の施設は、供用開始から14年が経過しております。管きよ、マンホールポンプは問題ありませんが、終末処理場である浄化センター内では耐用年数に基づく交換時期が近づく設備も出始めております。今後も機器類の点検を実施し、使用頻度によって異なる摩耗、劣化の状態を把握しながら長寿命化と更新に努めてまいります。

2. 老朽化の状況



全体総括

令和2年度で下水道計画区域内の管路工事が概成となります。今後も令和8年度までの「軽米町下水道事業経営戦略」を基本としながら計画的な下水道施設の更新を進めるとともに、経営基盤の強化と財政マネジメントの向上のため、水洗化率（下水道接続人口）及び使用料収入の更なる増加に努めます。住民生活に不可欠な下水道事業について、持続可能な運営のために、令和6年度までの公営企業会計移行を進め「経営状態の見える化」を目指してまいります。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。